

レジメンcode:	C15-16
適応がん種:	食道癌
レジメン名:	FP(700/70)-RT
間隔:	4週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
CDDP	シスプラチン(フリプラチン)	70	mg/m ²	点滴(2時間)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	700	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~4
RT		[*1]	Gy	[*1]	

* cStageIVaのみ

2コース実施後、有効が認められた症例(CR or good PR)では、
以下の追加化学療法【*2】C15-02:FP(800/80) 2コース行うことを考慮する。

【*2】1コース:4週間

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
CDDP	シスプラチン(フリプラチン)	80	mg/m ²	点滴(2時間)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	800	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~5

★尿量確保に注意し、必要に応じて利尿剤(フロセミド等)を投与する。

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	20ml	1 A		
				ポート確認
2) 硫酸Mg補正液		1 A		
生食	500ml	1 袋		
	主管①	点滴	2時間	
3) 生食	500ml	1 袋		
	主管②	点滴	2時間	
4) ホスアプレピタント	150mg	1 V		
生食	100ml	1 本		
	▶側管①	点滴	30分	主管②開始60分後から
5) パロノセトロン	0.75mg	1 V		
デキサート	6.6mg	1 V		
デキサート	3.3mg	1 A		
生食	50ml	1 本		
	▶側管②	点滴	15分	側管①に続いて
6) シスプラチン(フリプラチン)		70 mg/m ²		【ケモセーフ使用】
生食	500ml	総液量650ml以下になるように生食を調製		
	主管③	点滴	2時間	
7) フルオロウラシル(5-FU)		700 mg/m ²		【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋		
	主管④	点滴	24時間	
8) マンニトールS	300ml	1 袋		
	▶側管③	点滴	1時間	主管④と同時に
9) ソルラクト	1000ml	1 袋		
	▶側管④	点滴	3時間	側管③に続いて

〈所要時間 〉

次ページあり

day2、3【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	▶側管①	点滴	15 分	
2) 硫酸Mg補正液		1 A		
生食	1000ml	1 袋		
	▶側管②	点滴	4時間	側管①に続いて
3) フルオロウラシル(5-FU)		700 mg/m ²		【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋		
	主管①	点滴	24時間	前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day4【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V		
生食	50ml	1 本		
	▶側管①	点滴	15 分	
2) フルオロウラシル(5-FU)		700 mg/m ²		【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋		
	主管①	点滴	24時間	前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

day5

1) 生食	50ml	1 本		フラッシュ
2) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒		ルートロック

〈所要時間 ー〉

【文献】

国内第Ⅱ相試験(JCOG9708試験) J Clin Oncol.2009;39(10):638-643 (PMID:19549720)

国内臨床試験(JCOG0508試験) Gastroenterology 2019;157:382-390 (PMID:31014996)

国内Ⅱ/Ⅲ試験(JCOG0303試験) Cancer Sci 106(2015)407-412 (PMID:25640628)

・適応:cStageⅠ、Ⅳ

[*1]

【放射線照射】

○StageⅠ

・JCOG9708 total60Gy/30fr 領域なし、1週休止あり

・JCOG0508 ①断端:- pSM1~2 or pM3以浅だが脈管侵襲:+ → 領域へ41.4Gy/23fr

②断端:+ 局所、領域へ41.4Gy/fr → 局所boost、offcordでtotal50.4Gy/28fr

○StageⅣ(M1 LYM) * T4鎖骨上窩リンパ節転移のみ

・JCOG0303 total60Gy/30fr